

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、4・5月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「川柳とtwitter」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ twitter と川柳のかかわりに焦点を当て、日本では250年前からというのが、言い得て妙だった。川柳でtweetするのも風流かもしれない。(匿名希望)

■ テーマや人選のミス。もっと巻頭言に相応しい人は多いだろうと思う。今回の著者と情報処理のつながりはまったく見えない。(匿名希望)

特集「全国技術系勉強会マップ～技術者のライブセッションに参加しよう!～」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ How to 的な実践事例特集があると参考になってよいと思った。今後の研究会開催・運用のためにもためになり、有益な情報が得られたという実感があつた。(森下 孟)

■ 全国技術系勉強会マップは面白い企画で良かった。ただ本誌の紹介だけで終わるのはもったいなく、Web やtwitter を通じて、継続的に紹介し続ける場所や環境を提供するのが良い。(五味 弘)

■ 読者は、自分の地区で興味あるテーマの勉強会を探すのであるから、内容を簡潔(名称、概要、URL ぐらい)にして地区別に多くの勉強会を網羅する方が良かったのではないか。(匿名希望)

特集「バーチャルリアリティとインタラクティブアートの相互作用による発展」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ アート系の話は苦手であり、できあがったものを見たり触ったりすることは抵抗ないが、アートの才能がないため記事をきちんと読む気になれない。今回は盛りだくさんで、読むのに時間がかかり過ぎた。(匿名希望)

■ 文化財のデジタル化に業務でかかわっているので、とても興味深く読みました。このようにまとまった形で取り上げられることは少ないので、その点でもうれしいです。本会の中でもこの分野に取り組んでいる人同士で交流ができるとよいと思います。(米澤 恵)

新年度・ゴールデンウィークチュートリアル「スマートフォンプログラミング～iPhone とAndroid」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 興味ある分野だったこともあるが初心者向けに平易な内容もいいかと思う。人に勧めやすい記事である。(五味 弘)

■ 連休中に別の市販本を買って勉強してみる気になった。(匿名希望)

連載「べた語義」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ べた語義の連載が面白そうです。見出しを強調するなど、デザインを工夫すれば、もっと読みやすくなると思います。(阿南佳之)

連載「べた語義：ご存知でしたか？」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 周知の事実の羅列であるが、最近はこの事実を忘れていた人も多いため、啓発的であり、かつ文体が平易なので教育効果がある。より広い分野に同種の企画を拡張してほしい。(匿名希望)

■ “ご存知でしたか？”の多用により、読み手側の不快感につながった。ココロを大きく持って読めば良かったのですが……。(匿名希望)

連載「べた語義：高校教科「情報」のこれまでとこれから(前)」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 本会は、高校の教科「情報」に関する取り組みをしているのが良いと思っています。久野先生の次号の記事を楽しみにしたいと思います。(匿名希望)

コラム「"I" 見聞録：ITU-T SG17 会合」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 他の日本人の活躍されている状況も書いていただきたかった。(匿名希望)

シニアコラム「IT好き放題：若者が内向きなのではない」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■若者の意欲不足を嘆くだけの『年寄り』に対する鋭い問題提起に感服した。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■「合併号のいい訳」は何を言いたいのか分からない。(匿名希望)

■合併号になって厚さもちろん情報量が増えたことは一度に記事が検索できて便利である。タイムリー性ではインターネットに負けるので、毎月出すよりもこれから隔月刊で合併号にし続けるのもいいかと思う。(五味 弘)

■各記事ともボリュームが多すぎて読む気になれない。詳細な内容は学術書や論文で読むので、会誌はエッセンスだけ紹介する程度の記事ボリュームで良いのではないのでしょうか？(匿名希望)

■異分野の専門家が読者であることを想定した日本技術士会の会誌と比べると、本会の会誌は専門的に書かれているように思います。これは、会員の構成によっていわれるので、どちらが良いとは一概には言えないと思いますが、ご参考までに記しました。(匿名希望)

■学会誌としては取り上げるのは難しいテーマかもしれませんが、大学生や高校生は、ICTについてどう考えているのか、何を期待しているのかを取り上げてほしい。(山本恒雄)

■3月には全国大会が開催された。しかし、すべての会員が参加できるわけではないため、全国大会の特別講演や、参加会員の感想などを紹介する記事を要望します。また、今後開催される研究発表会の内容紹介も望みます。(匿名希望)

■今後とも専門家の立場からの理論・研究の現在と応用・課題の現在が一本で見通せるような記事が掲載されることで、未来に競争力のある技術がますます開発されてゆくものと期待します。(風間勝嘉)

■「情報」や「情報教育」という言葉の定義を議論するようなテーマを取り上げていただけると面白いと思います。(匿名希望)

■いろいろな分野の記事や興味のある技術を学ぶきっかけとなる記事を期待して読んでいます。同じキーワード・問題に対して、分野が異なることで見方や解決方法が異なるものなど、複数の研究分野を絡めた記事を期待します。(匿名希望)

【本欄担当 林 雄介, 掛下哲郎/書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPSIJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「パズルの数理」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-R.html	8月31日(水)		
	論文誌「知能情報技術の新しい応用と基礎」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-P.html	9月9日(金)		
	デジタルプラクティス「高度IT資格制度」特集論文募集 http://www.ipsj.or.jp/15dp/bosyu/dp0302s.html	9月26日(月)		
	論文誌「社会を元気にするICT」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-T.html	10月10日(月)		
	論文誌「スマートな社会を実現するコンピュータセキュリティ技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-Q.html	11月30日(水)		
7月14日(木) ~	第73回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/AVM73.html		当日のみ	奈良先端科学技術大学院大学
7月15日(金)				
7月14日(木) ~	第31回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/UBI31.html	5月20日(金)	当日のみ	九州大学西新プラザ
7月15日(金)				
7月15日(金)	第14回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/IOT14.html	5月27日(金)	当日のみ	岡山大学 津島キャンパス 創立五十周年記念館
7月15日(金) ~	第202回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/NL202.html	6月10日(金)	当日のみ	山形大学 米沢キャンパス
7月16日(土)				
7月18日(月)	第84回数値モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/MPS84.html		当日のみ	Las Vegas
7月18日(月) ~	The 2011 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2011) http://saintconference.org/			Munich, Germany
7月22日(金)				
7月20日(水) ~	第14回画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2011) http://cvim.ipsj.or.jp/miru2011/	5月25日(水)	当日可	金沢市文化ホール
7月22日(金)				
7月21日(木) ~	第81回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/DD81.html		当日のみ	公立はこだて未来大学
7月22日(金)				
7月21日(木) ~	第173回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/SE173.html	6月13日(月)	当日のみ	岡山国際交流センター
7月22日(金)				
7月21日(木) ~	第87回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/SLP87.html	5月18日(水)	当日のみ	札幌 定山溪温泉 定山溪グランドホテル瑞苑
7月23日(土)				
7月22日(金)	北陸支部研究講演会「知能共創システムプロジェクトの目指したもの」 http://www.ipsj-hokuriku.gr.jp/			金沢工業大学 (石川県白山市)
7月22日(金)	北陸支部研究講演会「文化遺産デジタルアーカイブとクラウドツーリズム」 http://www.ipsj-hokuriku.gr.jp/			金沢工業大学 (石川県白山市)
7月27日(水) ~	第188回計算機アーキテクチャ研究発表会 (SWoPP 鹿児島2011) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/ARC188.html	5月13日(金)	当日のみ	かごしま県民交流センター
7月28日(木)				
7月27日(水) ~	第118回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会 (SWoPP 鹿児島2011) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/OS118.html	5月13日(金)	当日のみ	かごしま県民交流センター
7月28日(木)				
7月27日(水) ~	第130回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 (SWoPP 鹿児島2011) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/HPC130.html	5月13日(金)	当日のみ	かごしま県民交流センター
7月29日(金)				
7月27日(水) ~	第91回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/MUS91.html	6月6日(月)	当日のみ	関西学院大学 三田キャンパス
7月29日(金)				
7月28日(木)	第35回システム評価研究発表会 (SWoPP 鹿児島2011) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/EVA35.html	5月13日(金)	当日のみ	かごしま県民交流センター
7月28日(木) ~	第144回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/HCI144.html		http://www.sighci.jp/events/sig/144 でご確認ください	宇奈月グランドホテル
7月29日(金)				
7月29日(金)	第85回プログラミング研究発表会 (SWoPP 鹿児島2011) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/PRO85.html	5月13日(金)	当日のみ	かごしま県民交流センター
7月30日(土)				
7月30日(土)	第91回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CH91.html	6月3日(金)	当日のみ	大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス
7月31日(日)	関西支部平成23年度セミナー「小中学生のための情報科学教室」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/kansai/ipsj-kansai/h23schoolchildren/		7月25日(月)	近畿大学本部キャンパス 38号館2F
8月2日(火) ~	第152回データベースシステム・第103回情報基礎とアクセス技術 合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/DBS152IFAT103.html	6月6日(月)	当日のみ	立命館大学 朱雀キャンパス
8月3日(水)				
8月18日(木) ~	情報教育シンポジウム2011 (SSS2011) http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2011	5月23日(月)	当日可	岡山いこいの村
8月20日(土)				
8月25日(木) ~	平成23年度電気関係学会東北支部連合大会 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月24日(金)		東北学院大学多賀城キャンパス
8月26日(金)				
8月30日(火)	第21回エンタテイメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/EC21.html	7月1日(金)	当日のみ	北海道大学
8月31日(水) ~	DA シンポジウム2011 -システムLSI設計技術とDA- http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/S-DA2011.html	5月6日(金)	7月15日(金)	ホテル下呂温泉水明館
9月1日(木)				
9月4日(日) ~	第144回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CG144.html	6月24日(金)	詳細はWebページで、 宿泊申込み切:7/12 17時	ホテルグリーンヒル 白浜
9月5日(月)				
9月5日(月) ~	第178回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CVIM178.html	6月8日(水)	当日のみ	公立はこだて未来大学
9月6日(火)				
9月5日(月) ~	第117回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/IS117.html	6月30日(木)	当日のみ	小樽商科大学
9月6日(火)				
9月5日(月) ~	第59回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・ 第2回コンシューマ・デバイス&システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/MBL59CDS2.html	7月5日(火)	9月2日(金) 今回は会場側の都合で 事前の申込が必要です。	三菱電機情報技術総合 研究所
9月6日(火)				

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月6日(火)	第136回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/AL136.html	6月15日(水)	当日のみ	函館市内(詳細未定)
9月7日(水)～ 9月9日(金)	FIT2011 第10回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2011/index.html			函館大学・函館短期大学
9月12日(月)～ 9月13日(火)	第26回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/BIO26.html	7月15日(金)	当日のみ	神戸大学・自然科学 総合研究棟3号館
9月12日(月)～ 9月14日(水)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2011 (SES2011) http://ytx.ws.hosei.ac.jp/SES2011/	5月10日(火)		東京女子大学
9月15日(木)	連続セミナー 2011 第1回「ソーシャルメディアなどによる コンシューマ参加型インターネットサービスの新たな発展」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
9月22日(木)	平成23年度情報処理学会関西支部支部大会 http://www.ipsj.or.jp/sibu/kansai/ipsj-kansai/sibutaikai_23/	6月24日(金)		大阪大学 中之島センター
9月26日(月)～ 9月27日(火)	平成23年度電気関係学会東海支部連合大会 http://www.ipsj-tokai.jp/rengo2011/	7月15日(金)		三重大学
9月26日(月)～ 9月27日(火)	平成23年度(第64回)電気関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月19日(火)		佐賀大学 本庄キャンパス
9月28日(水)	第46回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/ITS46.html	7月8日(金)	当日のみ	宇都宮大学 陽東キャンパス
10月14日(金)～ 10月15日(土)	第111回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CE111.html	8月26日(金)	当日のみ	帝京大学 (栃木県宇都宮市)
10月19日(水)～ 10月21日(金)	組込みシステムシンポジウム (ESS2011) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/S-ESS2011.html	6月23日(木)		国立オリンピック記念 青少年総合センター
10月22日(土)	平成23年度(第62回)電気・情報関連学会中国支部連合大会 http://rentai.it-hiroshima.ac.jp/	8月12日(金)		広島工業大学 (広島市佐伯区)
10月26日(水)	連続セミナー 2011 第2回「グリーンICTによるスマートな社会の創出」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
10月26日(水)～ 10月28日(金)	The 6th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2011) http://www.icmu.org/icmu2011/			九州大学西新プラザ
11月4日(金)～ 11月6日(日)	第16回 ゲームプログラミングワークショップ 2011 (GPW-11) http://sig-gi.tanaka.ecc.u-tokyo.ac.jp/	7月25日(月)	当日のみ	箱根セミナーハウス
11月8日(火)～ 11月10日(木)	The Sixth International Workshop on Security (IWSEC2011) http://www.iwsec.org/			東京大学生産技術研究所 コンベンションホール
11月17日(木)	連続セミナー 2011 第3回「コンシューマサービスの発展を支える 要素技術と標準化動向」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
11月30日(水)～ 12月1日(木)	コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys2011) http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?ComSys2011	7月12日(火)		立命館大学 朱雀キャンパス
12月17日(土)～ 12月18日(日)	第112回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CE112.html	10月31日(月)	当日のみ	島根大学 (島根県松江市)
12月22日(木)	連続セミナー 2011 第4回「スマートフォンとコンシューマ サービスの新たな展開」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
2012年				
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/	2月28日(火)		
1月25日(水)	連続セミナー 2011 第5回「通信、放送、ITの連携による新たな コンシューマサービスの出現」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
2月17日(金)	連続セミナー 2011 第6回「センサ、デバイスによる新たな情報と 高度交通システム」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
2月4日(土)～ 2月5日(日)	第113回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CE113.html	12月20日(火)	当日のみ	三重大学 (三重県津市)
3月6日(火)～ 3月8日(木)	情報処理学会 第74回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/74kai/index.html			名古屋工業大学
11月11日(日)～ 11月15日(木)	ICPR2012 第21回パターン認識国際会議 http://www.icpr2012.org/			つくば国際会議場

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 6月20日 デジタルプラクティス「高度IT資格制度」特集への論文投稿のご案内
- 6月17日 「情報処理の高度化等に対処するための刑法等の一部を改正する法律案」に対する要望
- 6月17日 「社会を元気にするICT」特集の論文募集
- 6月15日 人材募集(7月)更新しました
- 6月3日 新名誉会員 功績賞 論文賞 喜安記念業績賞 長尾真記念特別賞 のご紹介
- 6月3日 2011年度定時総会報告 2011年度役員名簿
- 6月3日 第26代会長挨拶を掲載しました
- 6月1日 「知能情報技術の新しい応用と基礎」特集の論文募集
- 5月27日 SAINT2011 事前参加登録受付中【事前登録締切:6/28迄】

会誌「情報処理」53巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

応募条件 ・表紙のデザイン（裏表紙，背表紙は含まず）。

- ・A4判（天地 297mm× 左右 210mm）4色フルカラー。
- ・描画手法は問いません。
- ・「情報処理」の題字，巻号，法定文字，記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
- ・簡単なデザインコンセプトを添えてください。
- ・応募資格は問いません。
- ・詳細は会誌編集部門までお問い合わせください。

注意事項 ・応募作品は返却いたしません。

- ・採用作品の掲載にあたって，学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
- ・採用作品の著作権（著作権法第 27 条，第 28 条の権利を含む）は情報処理学会に帰属します。
- ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について，第三者との間に紛争が生じた場合は，作者がその責を負う）。
- ・応募される場合は，上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 2011年11月1日（火）（必着）

結果通知 2011年12月下旬

賞 金 採用者1名に5万円

送付先／照会先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)

賛助会員 (企業) 31,500 円 ()

賛助会員以外の企業 52,500 円 ()

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■芝浦工業大学工学部情報工学科

募集人員 教授, 准教授, または助教 1 名 (助教は任期 3 年, その後審査により 1 年ずつ最長で通算 5 年まで延長可能)
 所属 工学部通信情報学群情報工学科
 専門分野 ヒューマンコンピュータインタラクション
 担当科目 「ヒューマンコンピュータインタラクション」, 「コンピュータ科学序説」の講義科目のほか, プログラミング関連の演習科目や卒業研究など
 応募資格 専門分野の業績があり, 次の各項に該当する方。1) 博士の学位を有すること, 2) 大学院の教育・研究を担当できること, 3) 情報工学の基礎系に造詣が深く, また, 応用分野も担当できること
 着任時期 2012 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト (査読付き論文, 査読付き国際会議, 口頭発表を含むその他の論文, 著書を区別し, すべての著者名を記載する。年号は西暦で表示し, 最新のものから順に番号を付し, 番号順に記載する), 主要論文別刷 (最近のものを 5 編以内でなるべく多く。コピー可), 教育に対する抱負 (A4 用紙 2 枚以内), 研究に対する抱負 (A4 用紙 2 枚以内), 推薦書
 応募締切 2011 年 8 月 19 日 (必着)
 送付先/照会先 〒135-8548 東京都江東区豊洲 3-7-5 芝浦工業大学工学部通信情報学群情報工学科 主任 五十嵐治一
 E-mail:arashi50@sic.shibaura-it.ac.jp Tel(03)5859-8524 「教員公募書類在中」と朱書き書留
 その他 詳細は本学 Web ページの「採用情報」欄を参照してください

■(独)情報通信研究機構

募集人員 パーマネント研究職員として, 各分野 若干名
 専門分野 ①高信頼自律系ワイヤレスネットワーク技術に関する研究, ②セキュアネットワークアーキテクチャの構築に関する研究, ③深い意味処理に基づく情報分析分野の研究 (*各研究内容の詳細については, 機構 Web ページをご覧ください)
 応募資格 応募資格の詳細は, 機構 Web ページをご覧ください
 着任時期 2012 年 4 月 1 日
 提出書類 ①訪問票 (*機構指定様式), ②研究経歴書 (要約を含む), ③論文リスト (誌上発表および口頭発表別), ④主要研究業績 (主な著書あるいは論文など 3 点程度, 別刷・コピー可)
 *訪問票の様式は機構 Web ページからダウンロードしてください, そのほかは様式自由です
 応募締切 2011 年 8 月 24 日 (必着)
 送付先/照会先 〒184-8795 東京都小金井市貫井北町 4-2-1 (独)情報通信研究機構総務部人事室 人事グループ
 E-mail:jinjig@ml.nict.go.jp Tel(042)327-7630 Fax(042)327-7590
 「平成 24 年 4 月 1 日採用パーマネント研究職員公募応募書類」と必ず朱書き郵送
 その他 本公募に関する詳細は, 必ず機構 Web ページ (<http://www.nict.go.jp/employment/>) をご確認ください

■山梨英和大学人間文化学部人間文化学科(専任)

- 募集人員 助教 1名(任期3年(最長5年)、任期中の審査により准教授昇任の可能性あり)
- 担当科目 ITリテラシー演習、情報システム実験演習などの情報関連科目(着任時応相談)、授業のほか、ネットワーク・サーバ管理なども担当していただきます
- 応募資格 次の条件を満たすこと。(1)キリスト教の信仰を持っている方もしくはキリスト教に理解のある方、(2)広い意味での情報科学分野を専門とする方、(3)博士の学位を有する方または着任時までに取得見込みの方、(4)ネットワークやサーバ管理経験のある方
- 着任時期 2012年4月1日(予定)
- 提出書類 (1)履歴書、(2)教育研究業績リスト(査読の有無を明記のこと)、(3)主要業績別刷(3点以内、コピー可)を挙げ、それぞれに400字程度の概要を付してください、(4)着任後の教育研究の抱負(A4用紙2枚程度)、(5)ネットワークやサーバ管理経験の具体的内容の記述(A4用紙1枚程度)、(6)応募者について参考意見をうかがえる方の氏名および連絡先(2名)
- 応募締切 2011年8月25日(消印有効)
- 送付先 〒400-8555 山梨県甲府市横根町888 山梨英和大学 学長 風間重雄
「情報系教員応募書類」と朱書き簡易書留 *提出書類は原則として返却いたしません
- 照会先 人間文化学科 難波道弘 E-mail:namba@yamanashi-eiwa.ac.jp
- その他 【選考方法】一次:書類選考、二次:面接試験(2011年9月17日実施予定)
*面接による本学までの旅費については自己負担となります
*男女共同参画社会基本法の精神に則り、山梨英和大学では教員の選考を行っております
*提出いただいた個人情報、教員採用選考の資料としてのみ利用し、個人情報保護法に基づいて適正に取り扱います

■有明工業高等専門学校電子情報工学科

- 募集人員 助教 1名
- 専門分野 ロボティクス、ソフトコンピューティング
- 担当科目 人工知能、計算機工学、制御工学、情報系実験・演習科目など
- 応募資格 (1)博士の学位を有する方または近い将来博士の学位を取得する見込みがある方(博士の学位取得見込みの方は3年間の任期付き助教として採用し、その間に学位を取得すれば、任期の定めを外します)、(2)教育・研究および学生指導に熱意がある方
- 着任時期 2012年4月1日
- 提出書類 (1)履歴書(市販の様式可、氏名は本人自筆)、(2)研究業績リスト(著書、論文、学会などにおける発表、特許、報告などでA4用紙、様式任意)、(3)主要研究業績別刷(5編以内、コピー可)、(4)主要研究業績概要(A4用紙1枚程度、様式任意)、(5)着任後の教育研究、学生指導に関する抱負(A4用紙1000字程度、様式任意)、(6)推薦書、または応募者について問合せ可能な方の氏名・所属と連絡先
- 応募締切 2011年8月31日(必着)
- 送付先/照会先 〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町150 有明工業高等専門学校 電子情報工学科長 内海通弘
E-mail:uchiiumi@ariake-nct.ac.jp Tel(0944)53-8872(直通) Fax(0944)53-8873
- その他 【選考方法】第一次選考:書類審査、第二次選考:面接
詳細はWebページ(<http://www.ariake-nct.ac.jp/5/k20110513b.pdf>)をご覧ください

■大分工業高等専門学校制御情報工学科

- 募集人員 准教授、講師あるいは助教 1名
- 専門分野 情報工学および関連工学分野
- 担当科目 情報工学の基礎科目および専門科目(実験実習、卒業研究を含む)を担当できる方で、特に、次のうち1科目以上を講義できる方:自然言語処理、データベース、データマイニング
- 応募資格 次の(1)~(3)のいずれにも該当する方、(1)博士の学位を有する方あるいは取得見込みの方、(2)高専の教育と学生指導に理解と熱意のある方、(3)担当科目に関する研究実績を有する方
- 着任時期 2012年4月1日
- 提出書類 (1)履歴書、(2)業績リスト(A4用紙、様式自由、著書、論文、口頭発表、その他など種類別に分類して記載)、(3)主要研究論文別刷(コピー可)、(4)高専着任後の抱負(教育・研究に対する抱負、提案等をA4用紙に1000字程度で記述)、(5)推薦書、または応募者について意見を伺える方の氏名・連絡先(勤務先、住所、電話番号、E-mailアドレス等)
- 応募締切 2011年8月31日(必着)
- 送付先 〒870-0152 大分県大分市牧1666 大分工業高等専門学校 総務課人事係 Tel(097)552-6079 Fax(097)552-6106
「制御情報工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
*応募書類は原則として返却しません。また、応募書類記載の個人情報は、本選考以外の目的で使用することはありません
- 照会先 制御情報工学科 青木照子 E-mail:aoki_t04@oita-ct.ac.jp Tel(097)552-7453
- その他 【選考方法】一次選考:書類審査、二次選考:面接・プレゼンテーション(一次選考合格者に対して実施日時等を連絡します。なお、面接に伴う旅費、宿泊費等は応募者の負担とします)
大分高専では男女共同参画社会基本法の精神に則り教員の選考を行っております

■九州工業大学大学院情報工学研究院

- 募集人員 教授または准教授 1名
 所 属 知能情報工学研究系知能情報アーキテクチャ部門
 専門分野 プログラミング言語およびその処理系
 担当科目 言語処理系、プログラミング言語関連の講義科目および実験・演習
 応募資格 (1)採用時点で博士の学位を有すること、(2)当該分野の教育および先端的研究を担える能力と熱意を有すること、(3)博士後期課程の学生の研究指導ができることが望ましい
 着任時期 2012年1月1日から3月末日までのできるだけ早い時期
 提出書類 (1)履歴書(高校卒業以降の学歴、職歴、賞罰、資格)、本件に関する連絡先(E-mailアドレス、電話番号)を明記のこと、(2)研究業績リスト(審査のある原著論文、著書、国際会議論文、受賞などを分けて記載すること)、(3)主要論文(5編、コピー)、(4)取得・出願特許リスト、(5)外部資金獲得に関する実績(代表者か分担者を明記のこと)、(6)これまでの教育および実務・研究の要約(A4用紙2枚程度)、(7)今後の研究計画および教育に関する抱負(教育・研究、それぞれA4用紙1枚程度)、(8)応募者に関して意見を伺える方2名のお名前と連絡先、E-mailアドレスなど
 応募締切 2011年8月31日(必着)
 送付先/照会先 〒820-8502 福岡県飯塚市川津680-4 九州工業大学大学院情報工学研究院知能情報工学研究系 瀬部 昇
 E-mail:sebe@ai.kyutech.ac.jp Tel(0948)29-7621
 その他 詳細はWebページ(<http://www.ai.kyutech.ac.jp/680.html>)をご覧ください

■九州工業大学大学院情報工学研究院

- 募集人員 教授 1名
 所 属 情報創成工学研究系システム創成工学部門
 専門分野 ソフトウェア工学
 担当科目 情報基礎科目(プログラミング、計算機システムなど)、ソフトウェア工学やプロジェクト・マネジメントなどの講義科目
 応募資格 (1)博士の学位を有し、博士後期課程の学生の研究指導ができること、(2)当該分野の教育および先端的研究を担える能力と熱意を有すること
 着任時期 2012年1月1日から3月末日までのできるだけ早い時期
 提出書類 (1)履歴書(高校卒業以降の学歴、職歴、賞罰、資格)、本件に関する連絡先(E-mailアドレス、電話番号)を明記のこと、(2)研究業績リスト(審査のある原著論文、著書、国際会議論文、受賞などを分けて記載すること)、(3)主要論文(5編、コピー)、(4)取得・出願特許リスト、(5)外部資金獲得に関する実績(代表者か分担者を明記のこと)、(6)これまでの教育および実務・研究の要約(A4用紙2枚程度)、(7)今後の研究計画および教育に関する抱負(教育・研究、それぞれA4用紙1枚程度。教育の抱負には、博士後期課程の学生に対する教育の抱負が含まれることが望ましい)、(8)応募者に関して意見を伺える方2名のお名前と連絡先、E-mailアドレスなど
 応募締切 2011年8月31日(必着)
 送付先/照会先 〒820-8502 福岡県飯塚市川津680-4 九州工業大学大学院情報工学研究院情報創成工学研究系 碓崎賢一
 E-mail:kakizaki@ci.kyutech.ac.jp Tel(0948)29-7674
 その他 詳細はWebページ(<http://www.ci.kyutech.ac.jp/topics/201105.html>)をご覧ください

■近畿大学理工学部電気電子工学科

- 募集人員 講師、准教授または教授 1名
 専門分野 通信工学
 担当科目 移動体通信工学、通信方式、学生実験、通信分野資格取得関連など
 応募資格 (1)博士(またはPh.D)の学位を有する方、(2)心身が健康であり、教育・研究に熱心な方、(3)大学院担当教員として十分な研究業績を有する方、(4)大学の管理・運営に対して十分な能力と熱意のある方
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 (1)履歴書、(2)教育研究業績リスト、(3)教育研究業績書(著書・学術雑誌)、(4)これまでの研究概要(A4用紙2000字以内、任意の書式)、(5)主要論文別刷(5編、コピー可)、(6)本学における今後の教育・研究に対する抱負(A4用紙2000字以内、任意の書式)、(7)推薦書(自薦も可)、または当方から応募者に関する問合せ可能な複数の方の連絡先、(8)連絡先(電話番号、E-mailアドレス)
 応募締切 2011年8月31日(必着)
 送付先 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1 近畿大学理工学部電気電子学科 学科長 神戸尚志
 その他 詳細はWebページ(<http://www.kindai.ac.jp/about/saiyo/sci/08.html>)の「採用情報」をご覧ください

■成蹊大学理工学部情報科学科

- 募集人員 教授、准教授、または専任講師 1名(各部門ごと)
- 専門分野 部門A:メディア情報処理分野 [情報検索, Web情報処理, テキストマイニング, ソーシャルメディア, 自然言語処理, 機械学習, データマイニング等]
部門B:計算機科学基礎理論分野 [計算理論(アルゴリズム, 暗号, 計算複雑性), 離散構造, 言語理論等]
- 担当科目 A: C++プログラミング講義および実験, アルゴリズムとデータ構造, 言語メディア関係の科目, 学部・大学院の研究指導等
B: C++プログラミング講義および実験, コンピュータ数学, 計算機科学基礎理論関係の専門科目, 学部・大学院の研究指導等
- 着任時期 2012年4月1日
- 提出書類 1)履歴書, 2)応募部門名(部門AまたはB), 3)研究業績リスト(査読付き学術論文, 国際会議論文, 解説, 著書, 特許, 口頭発表, 外部資金獲得状況, 共同研究・受託研究等外部組織との連携等), 4)主要論文別刷(5編, コピー可), 5)これまでの研究概要(A4用紙2枚程度), 6)今後の研究計画, および教育についての抱負(各A4用紙1枚程度), 7)応募者について参考意見を伺うことのできる方2名の名前, および連絡先
- 応募締切 2011年8月31日
- 送付先/照会先 〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 成蹊大学理工学部情報科学科 学科主任 神田芳文
E-mail:kanda@st.seikei.ac.jp
「情報科学科教員応募書類在中」と「部門名(AまたはB)」を朱書き簡易書留 *提出書類は返却しません
- その他 書類選考の後, 必要に応じて面接を行います。面接の際の交通費, 宿泊費は応募者の負担とさせていただきます
詳細はWebページ (<http://www.seikei.ac.jp/gakuen/recruit.html>)をご覧ください

■筑波大学大学院図書館情報メディア研究科

- 募集人員 助教 1名
- 所属 情報メディアシステム分野
- 専門分野 データマイニング, クラウドコンピューティングなど, 大規模データからの知識抽出・発見に関する分野
- 担当科目 情報学群知識情報・図書館学類の授業および卒業研究指導, 全学共通の授業, 大学の運営に関する業務等を担当する。また, 大学院図書館情報メディア研究科博士前期課程の授業・演習を担当する
担当する授業科目は次のとおり
学部学生向け: グリッドコンピューティング, プログラミング演習-I, 知識情報システム実習など
大学院生向け: 情報メディア演習A(情報学)など
- 応募資格 (1)専門分野における研究業績があり, 教育・研究に熱意のある方, (2)専門分野に関する博士の学位を有すること(着任時まで取得見込みも可)
- 着任時期 決定後できるだけ早い時期(遅くとも2012年4月1日までの時期)
- 提出書類 (1)履歴書(連絡先とE-mailアドレスを明記), (2)専門分野を表すキーワード:3~5個, (3)教育・研究などの実績(1500字程度), (5)の主要論文を適宜参照すること), (4)研究業績リスト(学術論文, 国際会議論文, 著書, 解説, その他の研究発表, 特許, 受賞などに分類したリスト, 共著者名はすべて記入), (5)主要論文別刷(5編以内, コピー可), (6)教育・研究に対する抱負と自己アピール(1500字程度), (7)同意書(備考参照, 様式はWebページからダウンロードしてください), (8)推薦書1通または意見を求め得る方2名の氏名・所属・連絡先・応募者との関係
- 応募締切 2011年8月31日(必着)
- 送付先 〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 研究科長 植松貞夫
「情報メディアシステム分野教員応募書類在中」と朱書き簡易書留か宅配便
- 照会先 情報メディアシステム分野 主任 佐藤哲司 E-mail:satoh@slis.tsukuba.ac.jp Tel/Fax(029)859-1391
- その他
- 選考に際して面接を行うことがあります。面接の旅費等は応募者の負担とさせていただきます
 - 応募に際してご提供いただいた個人情報は適正に管理し, 本選考以外の目的には使用いたしません
 - 応募書類は返却いたしません。また, 審査経過のお問合せにはお答えできません
 - 助教はテニユア・トラック制の職位(任期5年)になります。任期満了前にテニユア獲得の審査があります。この審査でテニユアを獲得した場合は, 任期の定めのない職員となり, 獲得できなかった場合は, 転出準備等のため申出があれば1年を限度として任用を更新できます。応募に際して同意書の提出が必要となります
 - 筑波大学は, 個人が性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できるよう「男女共同参画推進に係る基本理念・基本方針」を定めています。女性の積極的な応募を歓迎します
 - 詳細ならびに様式はWebページ (<http://www.tsukuba.ac.jp/update/jobs/>)をご覧ください

■名古屋大学大学院工学研究科

募集人員 教授 1名
 所属 電子情報システム専攻 情報・通信工学分野 電子情報通信講座
 専門分野 3次元映像を中心とした信号処理
 担当科目 大学院工学研究科 電子情報システム専攻, 工学部 電気電子・情報工学科における科目を担当
 応募資格 博士の学位を有する方。研究のみならず, 学部学生・大学院生の教育にも熱意を持つ方
 着任時期 2012年6月1日(予定)
 提出書類 次の①, ②, ④~⑦の書類を電子ファイル(A4サイズPDF文章, USBメモリに格納のこと)にて, ③についてもできれば電子ファイルにて提出すること。なお, ①~⑦の紙媒体出力を一式添付すること。①履歴書, ②研究業績リスト(20件程度に被引用件数を併記すること), ③主要論文別刷(5編), ④これまでの研究概要(A4用紙2枚程度), ⑤今後の研究計画および教育についての抱負(A4用紙1枚程度), ⑥本人について照会可能者(2名以内)の氏名・所属・連絡先, ⑦審査に役立つと応募者が判断するその他の事項(学会および社会活動, 教育経験等)
 応募締切 2011年9月15日(必着)
 送付先/照会先 〒464-8603 愛知県名古屋市長区不老町 名古屋大学大学院工学研究科 電子情報システム専攻長 松村年郎
 E-mail:matumura@nuce.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-3316 Fax(052)789-3149
 「電子情報通信講座教授応募書類在中」と朱書きし書留
 *応募書類(USBを含む)は返却いたしません
 その他 Webページ(<http://www.nuce.nagoya-u.ac.jp/>)をご覧ください

■秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科

募集人員 教授または准教授 1名
 専門分野 情報工学とその関連分野
 特に, ソフトウェア開発の教育と研究に実践的に取り組んで, その成果を社会貢献に結び付ける意欲のある方
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績リスト(学術論文は, ①学術誌論文(査読付き), ②国際会議発表論文(査読付き), ③その他, に分類して記載のこと, また主要なもの5編に○をつけること), (3)主要論文(5編, コピー可), (4)これまでの研究および教育ないしは社会活動の概要(1000字程度), (5)教育に対する抱負(1000字程度), (6)研究・地域貢献に対する抱負(1000字程度), (7)応募者について意見を求めることのできる推薦者2名の氏名と連絡先, (8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は, 過去5年間における状況リスト
 応募締切 2011年9月16日(必着)
 送付先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 秋田県立大学 システム科学技術学部長 小林 淳
 照会先 電子情報システム学科長 佐藤宗純 E-mail:sojun_sato@akita-pu.ac.jp Tel(0184)27-2090(ダイヤルイン)
 その他 詳細はWebページ(<http://www.akita-pu.ac.jp/houjin/saiyo.htm>)をご覧ください

■秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科

募集人員 助教 1名
 専門分野 情報工学とその関連分野
 特に, 情報ネットワーク分野の教育と研究に実践的に取り組んで, その成果を社会貢献に結び付ける意欲のある方を求めます
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績リスト(学術論文は, ①学術誌論文(査読付き), ②国際会議発表論文(査読付き), ③その他, に分類して記載のこと, また, 主要なもの3編に○をつけること), (3)主要論文(3編, コピー可), (4)これまでの研究および教育ないしは社会活動の概要(1000字程度), (5)教育に対する抱負(1000字程度), (6)研究・地域貢献に対する抱負(1000字程度), (7)応募者について意見を求めることのできる推薦者2名の氏名と連絡先, (8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は, 過去5年間における状況リスト
 応募締切 2011年9月16日(必着)
 送付先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 秋田県立大学 システム科学技術学部長 小林 淳
 照会先 電子情報システム学科長 佐藤宗純 E-mail:sojun_sato@akita-pu.ac.jp Tel(0184)27-2090(ダイヤルイン)
 その他 詳細はWebページ(<http://www.akita-pu.ac.jp/houjin/saiyo.htm>)をご覧ください

■早稲田大学大学院情報生産システム研究科

- 募集人員 教授あるいは准教授 1名
 専門分野 次の①あるいは②の分野
 ①パワーエレクトロニクス, または パワーシステム, 電気・電磁機器学, ②アクチュエータ工学, または電動機工学
 講義担当 ①あるいは②の専門分野に関連した講義・演習・実験・研究指導を担当します。なお, ①②ともに講義・演習・実験指導・研究指導を日本語と英語で実施できることが必須です
 応募資格 博士またはPh.Dの学位を有した上で, 当該分野において優れた業績が認められ, 国内外において指導的役割を果たすことが期待できる方。それとともに学生の教育に情熱を持って取り組める方
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 (1)履歴書:氏名(ふりがな), 生年月日, 現住所, 連絡先(郵送連絡先住所, 電話番号, Fax番号, E-mailアドレス), 学歴(高等学校入学以降), 博士(またはPh.D.)の学位取得年月(受領大学), 資格ならびに賞罰, 職歴を記載してください。(2)教育研究業績リスト:I~IIIの項目について, 最近のものから順に, 題名, 発行または発表年月, 発行または発表個所, 掲載誌名等をA4用紙で記載してください。形式は自由とします。<I. 教育活動:1. 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む), 2. 作成した教科書, 教材, 参考書等, 3. 教育方法・教育実践に関する発表, 講演等, 4. その他, 教育活動上特記すべき事項><II. 研究活動:1. 著書, 2. 修士論文・博士論文・論文, 3. 学会発表, 4. 文部科学省科研費および公的資金による研究課題(研究代表者), 5. その他, 研究活動上特記すべき事項><III. 学会等および社会における主な活動>, (3)主要論文別刷(5編, コピー可, 各5部), (4)着任後の抱負・見解(A4用紙2枚程度, 形式自由), 本学に任用された場合の, 今後の研究計画および教育活動に関する展望と抱負, 考え方を記載してください, (5)応募者について参考意見を伺える方2名の所属, 役職, 住所, 電話番号, Fax番号, E-mailアドレスを記載してください
 応募締切 2011年9月17日(当日消印有効)
 送付先 〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-7 早稲田大学大学院情報生産システム研究科 事務室
 Tel(093)692-5017 Fax(093)692-5021 「教員公募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしませんのでご了承ください
 照会先 大学院情報生産システム研究科 生産システム分野主任 和多田淳三 E-mail:watada@waseda.jp Tel(093)692-5179
 その他 【任期】任期には期限があります(3年間)。任期終了前の学内審査を経て, 2年間の再任用を行うことがあります。また, 任期終了前の学内審査を経て, 任期の途中あるいは任期終了後に任期の定めのない教員(専任教員)として採用する場合があります
 【待遇】待遇は早稲田大学の規程によります
 【選考方法】第1次選考は提出書類により行います。第1次選考を通過された方を対象として, 第2次選考(面接, プレゼンテーション)を本学において2011年10月中に実施することがあります。その際の旅費等は各自ご負担願います
 研究科Webページ:早稲田大学大学院情報生産システム研究科(<http://www.waseda.jp/ips/>)

■豊橋技術科学大学

- 募集人員 助教(または助手) 1名(情報・知能工学系/メディア情報学分野)
 専門分野 ユビキタス・モバイルコンピューティング, ヒューマンインタフェース, 画像・グラフィクスなどの融合的な研究領域
 応募資格 博士の学位を有し(または, 着任までに取得可), 当該分野に業績がある方。および大学院学生の研究指導補助ができ, 情報系の実験科目の担当が可能な方
 着任時期 2012年1月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷, 学会・社会における活動状況, 外部資金の獲得実績, これまでの研究活動の概要, 着任後の教育研究に対する抱負
 *内容の詳細はWebページ(<http://www.tut.ac.jp/about/kyoin-koubo.html>)で確認すること
 応募締切 2011年10月7日(必着)
 送付先 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学情報・知能工学系 系長 青野雅樹
 「助教応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却しない
 照会先 メディア情報学分野 栗山 繁 E-mail:kuriyama@cs.tut.ac.jp Tel(0532)44-6737
 その他 【任期】原則5年(ただし, 再任もあり得る)
 【選考方法】書類選考の後, 本学での面接およびプレゼンテーション(ただし, 交通費・宿泊費は支給しない)

■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科

- 募集人員 准教授 1名(任期付き・テニュアトラック)
- 所属 ソフトウェア科学領域
- 専門分野 ソフトウェア検証に関連する教育・研究分野。特に、数理論理学・計算モデル・形式言語などの基礎理論から、検証自動化の視点に基づくツール実装まで、理論から実践までに関する研究に優れ、また、形式言語、プログラミング言語、言語処理系などに関する講義が担当可能であること
- 応募資格 採用時に博士の学位を有する方で、大学院大学である本学の理念(本学Webページ参照)を理解し、国際性・学際性に富み、今後の上記分野の研究および教育の発展のために熱意を有する方。本学では女性・外国人教員の採用を積極的に進めています
- 着任時期 2012年4月1日以降できる限り早い時期
- 提出書類 履歴書、研究歴およびこれまでの研究概要(学術雑誌の編集委員、国際会議のプログラム委員等学術的貢献や標準化等の社会貢献なども含めてください)、研究業績リスト(著書、海外論文誌、査読付き国際会議、国内論文誌、研究会・国内シンポジウム等の発表論文、特許、その他に区別し、年代逆順で列記。海外論文誌と国内論文誌は分けて記述し、受賞、研究費調達状況なども含めてください)、主要論文(5編、コピー可)、任期期間内における今後の研究計画(2000字程度)、教育に対する抱負(2000字程度)、推薦書2通または意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先(E-mailアドレス、電話番号)
- 応募締切 2011年10月31日(必着)
- 送付先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科長 赤木正人
「教員応募書類在中(ソフトウェア科学領域・准教授)」と朱書き簡易書留
- 照会先 情報科学研究科ソフトウェア科学領域・ソフトウェア検証論分野 教授 小川瑞史
E-mail:mizuhito@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1247 Fax(0761)51-1149
- その他 本学に関する情報についてはWebページ(<http://www.jaist.ac.jp/index-jp.html>)をご覧ください





論文誌ジャーナル掲載論文リスト
Vol.52 No.7 (July 2011)

【Special Issue on Trust Management】

- Editor's Message to Special Issue on Trust Management
Yuko Murayama
- Investigation on anxieties while using the Internet to study about "Anshin"
Taro Yamamoto, et al.
- Correlating Relational Competence with Trust
Isabella Ruth Hatak, et al.
- Defining and Investigating Device Comfort
Stephen Paul Marsh, et al.
- Analysis of Awareness Gap on Effectiveness of the Information Security Measures between Managers and Workers
Toshihiko Takemura, et al.
- Graded Trust of Certificates and its Management with Extended Path Validation
Hiroyuki Sato, et al.
- Formal Notions of Trust and Confidentiality - Enabling Reasoning about System Security
Andreas Fuchs, et al.
- PoliSeer : A Tool for Managing Complex Security Policies
Daniel Lomsak, et al.
- Empirical Study on Privacy Concern and Acceptance for e-Money in Japan
Ayako Komatsu, et al.
- Identifiers, Privacy and Trust in the Internet of Services
Leonardo Augusto Martucci, et al.
- Exploring the Use of Explicit Trust Links for Filtering Recommenders : A Study on Epinions.com
Pern Hui Chia, et al.
- Classification of Recommender Expertise in the Wikipedia Recommender System
Christian Damsgaard Jensen, et al.
- Performance Evaluation of Personal and General Data Classes for Trust Management in MANETs
Marcin Seredynski, et al.

- Feasibility Study of Security Virtual Appliances for Personal Computing
Ahmad Jihad Bazzi
- A Study of "information security" in Internet Society
Masahiro Koyama

【一般論文】

- 仮想ボリュームクラスタリング法による動的階層制御ストレージの性能管理
江丸裕教 他
- CAN メッセージのオフセット決定手法
陳 暘 他
- 属性付き位置情報ログが示す行動特性と消費傾向の関係*
飯尾 淳 他
- Twitter を用いたコンテキストと入力文字列の相関関係分析*
荒川 豊 他
- 決定的な解析と相対的な比較による解析の二側面を持つ日本語係り受け解析
山本悠二 他
- Boosting に基づく系列ラベリングにおける効率的規則表現方法による高速化
岩倉友哉
- グラフカットによる異常値耐性のある陰関数曲面生成法*
長井超慧 他
- 意識的注意を喚起する対面協調型観光情報システムの開発と評価*
高橋恭平 他
- 科目ネットワーク上の活性伝播を用いた時間割の自動生成システム
堀 幸雄 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会 (本部) ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事業/国際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム, 国際会議, IFIP 委員会
■ 管理部門			
総務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

CONTENTS

Preface

A Distance behind the Times
Toshizou NANBA (Author)

904 A Message from Counselor for Cabinet Secretariat
Yasushi HIBINO (Japan Advanced Institute of Science and Technology)

Special Features

The Physical Computing for Summer Handicrafts

- 912 0. Foreword
Kazushi MUKAIYAMA (Future Univ. Hakodate)
- 914 1. Physical Computing Primer
Shigeru KOBAYASHI (International Academy of Media Arts and Sciences)
- 918 2.1 The Introduction to Gainer - The I/O Interface that can be Easily Realized -
Takanori ENDO (Institute of Advanced Media Arts and Sciences)
- 922 2.2 The Microcontroller Board that has 150,000 Sale Results
So KANNO (Tama Art Univ.)
- 926 2.3 An Introduction to Phidgets, The Pioneer Toolkit for Rapid Wiring
Koji TSUKADA (Ochanomizu Univ.)
- 930 2.4 Beginning e-textiles with Aniomagic
Osamu IWASAKI (MechaRoboShop)
- 934 2.5 An Introduction to the mbed
Akifumi OKANO (NXP Semiconductors Japan)
- 938 2.6 Introduction to Advanced PSoC - A Kind of Reconfigurable Processor
Junichi AKITA (Kanazawa Univ.)
- 942 3. Cookbook for Physical Computing with physical X wonderfl
Sunao HIRUTA (Shinshu Univ.) and Junichi AKITA (Kanazawa Univ.)
- 950 4.1 Techno-Shugei - The Rabbit that has Flashing Eyes -
Kyoko KASUYA and Tomofumi YOSHIDA (Techno-Shugei Club)
- 952 4.2 PAPATRONICS Let's Make a Electric Musical Box for Your Child
@weed_7777
- 954 4.3 Akara 2010 Paper Craft - Making a Twitter Gadget
Sunao HASHIMOTO (Japan Science and Technology Agency) and Takasuke SONOYAMA (T-D-F)
- 958 5. Introduction of Personal Fabrication : A New Business Model Generated from the Community
Noriyuki AIBE (Univ. of Tsukuba)
- 964 6. Electronics Craft to Combine Two Computer Worlds
Junichi AKITA (Kanazawa Univ.)
- 970 7. Future of Manufacturing to Begin from Digital Fabrication
Akihiro KUBOTA (Tama Art Univ.)
- 976 8. We can Make (Almost) Anything
Hiroya TANAKA (Keio Univ.)

Articles

- 982 Adaptation of OpenSource Software to TV Set
Akinori KOMAKI, Tsugutoyo OSAKI and Yoshifumi TAKAYAMA (Toshiba Corp.)
- 990 Precisely Know Your Location Anywhere, Anytime. - Future Improvement by the Michibiki, First Quazi - Zenith Satellite -
Erika MYOJIN (Japan Aerospace Exploration Agency)

Reports : The 2010 IPSJ Outstanding Paper Award

- 998 Foreword
Tadanori MIZUNO (Aichi Institute of Technology)
- 999 Expanding the Usage of Direction Keys for Rapidly Selecting Hyperlinks
Atsuhiko MAEDA (NTT Corp.)
- 1000 Toward Realization of a Wide - Area Sensor Network
Yuji KONISHI (IMJ Mobile Inc.) and Yuuichi TERANISHI (Osaka Univ.)
- 1001 Toward Secure Encrypted Database without Functional Limitation
Hiroshi YOSHIURA (Univ. of Electro-Communications)
- 1002 Towards Precise and Efficient Detection of Software Bugs
Yoshitaka ARAHORI (The Univ. of Electro-Communications)

- 1003 Activity of Simplifying SELinux Configuration
Yuichi NAKAMURA (Hitachi Solutions, Ltd.)
- 1004 Toward Understanding Information Processing in the Brain : Mathematical Approach by Neural Models
Munenori IIDA (The Univ. of Tokyo / Japan Society for the Promotion of Science), Toshiaki OMORI (The Univ. of Tokyo / RIKEN), Toru AONISHI (Tokyo Institute of Technology / RIKEN) and Masato OKADA (The Univ. of Tokyo / RIKEN)
- 1005 Towards Cross-genre Information Access
Hidetsugu NANBA (Hiroshima City Univ.)
- 1006 Prefetching for Lower Level Caches
Hidetsugu IRIE (The Univ. of Electro-Communications), Goki HONJO and Kei HIRAKI (The Univ. of Tokyo)
- 1007 Research for Development of Flexible Dedicated Circuits
Shinobu NAGAYAMA (Hiroshima City Univ.)
- 1008 Attractive Imaging Technique Using Reflectors
Yasuhiro MUKAIGAWA (Osaka Univ.)

Reports : The 2010 IPSJ Nagao Special Researcher Award

- 1009 Foreword
Tadanori MIZUNO (Aichi Institute of Technology)
- 1010 Beyond Gaps between Digital and Physical
Isao ECHIZEN (National Institute of Informatics)
- 1011 A Novel Paradigm of Machine Learning based on Probability Density Ratios
Masashi SUGIYAMA (Tokyo Institute of Technology)
- 1012 Future ICT that Solves Social Issues
Naomi YAMASHITA (NTT Communication Science Labs.)

Reports : The 2010 IPSJ Kiyasu Special Industrial Achievement Award

- 1013 Foreword
Tokumichi MURAKAMI (Mitsubishi Electric Corp.)
- 1014 Technologies for Monitoring and Failure-diagnosis of Large-scale Networks
Noriyuki FUKUYAMA, Yuji NOMURA, Takeshi YASUIE, Masanobu MORINAGA and Tetsuya NISHI (Fujitsu Labs. Ltd.)
- 1015 Toward Face Recogniton Technology with Zero Error Rate
Hitoshi IMAOKA, Yusuke MORISHITA (NEC Corp.), Hiroyoshi MIYANO (NEC Informatec Systems, Ltd.) and Atsushi SATO (NEC Corp.)
- 1016 For the Realization of High-quality Video Service based on H.264 Coding Technology
Yoshiaki KATO, Hiroharu SAKATE, Nobuaki MOTOYAMA, Hideki INOMATA and Yoshihiko YAMAMOTO (Mitsubishi Electric Corp.)
- 1017 Commercialization of Distributed Speech Recognition System on 3rd Generation Cellular Phones
Tsuneo KATO, Eiji UTSUNOMIYA, Masaki NAITO (KDDI R&D Labs. Inc.), Toshiaki UCHIBE (KDDI Corp.) and Hisashi KAWAI (National Institute of Information and Communications Technology)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 1018 A Trial Support to Acquire the Degree of Doctor for Skillful Engineers
Hisao KOIZUMI (Tokyo Denki Univ.)

"Peta-gogy" for Future

- 1019 Column : Expecting for Fundamental Programming in Professional Education
Susumu KANEMUNE (Osaka Electro-Communication Univ.)
- 1020 Research on Curricula of Information Science and Engineering Departments based on their Syllabuses
Teruo HIKITA and Kiyoshi ISHIHATA (Meiji Univ.)
- 1026 A Utilization of Smartphone in Higher Education
Kazunari ITO (Aoyama Gakuin Univ.)

Column : "I" Report

- 1030 International Workshop on Security IWSEC 2010 : Organizing International Conference from Japan
Hiroaki KIKUCHI (Tokai Univ.)

ご意見をお寄せください!

【8月10日頃までにお出しください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq5208.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-aのようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別: (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」(会誌およびWeb)に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号 (2011年8月号)の記事はお役に立ちましたか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a...大変よい b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]

巻頭コラム: 時代遅れの距離.....	10-1- []
内閣官房参与からのメッセージ.....	10-2- []
特集: 夏休み工作のためのフィジカルコンピューティング	
1. フィジカルコンピューティング概論.....	10-3- []
2.1 Gainer 入門.....	10-4- []
2.2 Arduino 入門.....	10-5- []
2.3 Phidgets 入門.....	10-6- []
2.4 Aniomagic 入門.....	10-7- []
2.5 mbed 入門.....	10-8- []
2.6 レベルアップ! PSoC 入門.....	10-9- []
3. クックブック.....	10-10- []
4.1 テクノ手芸.....	10-11- []
4.2 パパトロニクス.....	10-12- []
4.3 あから 2010 ペーパークラフト.....	10-13- []
5. パーソナル・ファブリケーション序論.....	10-14- []
6. コンピュータの上流と下流をつなく電子工作.....	10-15- []
7. デジタル・ファブリケーションから始まる未来のものづくり.....	10-16- []
8. 私たちはほぼ何でもつくれるようになる.....	10-17- []
付録: あから 2010 ペーパークラフト.....	10-18- []
製品開発へのオープンソース利用の実状.....	10-19- []
いつでも、「どこ」が正確に.....	10-20- []
2010年度論文賞の受賞論文紹介.....	10-21- []
2010年度長尾真記念特別賞紹介.....	10-22- []
2010年度喜安記念業績賞紹介.....	10-23- []
IT好き放題: 熟達技術者の博士学位取得を目指した支援活動の試み.....	10-24- []
べた語義: コラム: 専門教育に向けたプログラミング入門教育への期待.....	10-25- []
べた語義: シラバスに基づく理工系情報学科のカリキュラム調査.....	10-26- []
べた語義: 大学におけるスマートフォンの活用事例.....	10-27- []
"I" 見聞録: 情報セキュリティ国際会議 IWSEC 2010: 日本発の国際会議を開催すること.....	10-28- []

- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか? 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例: 10-8の記事の場合は「8」と記入), その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔11-1〕良かった記事 11-1- []
- 〔11-2〕選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可)..... 11-2- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他 (具体的に下記にご記入ください)
- (12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか? 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例: 10-8の記事の場合は「8」と記入), その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔12-1〕良くなかった記事 12-1- []
- 〔12-2〕選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可)..... 12-2- []
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他 (下記に具体的に下記にご記入ください)

(13) 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

(14) 会誌に対するご意見やご感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。
(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

訂 正

本誌 52 巻 6 号 (2011 年 6 月号) の特集「時間とコンピュータ : 3. 将棋と時間」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

p.623 左段下から 2 行目 (誤) 金二郎九段 (正) 金易二郎九段

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

今回の特集「夏休み工作のためのフィジカルコンピューティング」は、私の会誌担当理事としての最後の仕事です。本年5月いっぱいまで2年間の理事の任期を終了したのですが、この2年間、会誌を楽しく充実するものにするため、いろいろな企画を考えてきました。本号の「付録」というのが大きな最後のチャレンジで、「8月号は夏休み工作ということで、フィジカルコンピューティングの特集をやってそれにペーパークラフトの付録をつける」というのが私の最初のアイデアでした。ゲストエディタがなかなか見つからなかったのですが、ようやく迎山先生にたどり着き、ご快諾いただいた結果、今回の企画が実現

したわけです。特集の全体を通じて堅い学会誌のイメージをできるだけ払拭したいという難しいお願いをしたところ、本当に楽しくわくわくするような紙面を形作ってくださいました。迎山先生をはじめ、執筆者の皆様がこの場をお借りしてお礼申し上げます。さて、ここから先は読者の皆さんに委ねられています。ぜひきれいに完成させ、ツールキットを使って面白い機能を実現してください。フィジカルコンピューティングを通じて、皆様にわくわくする夏休みをお過ごしいただければと祈っております。

(塚本昌彦/本特集エディタ)

「学長が編集長ダツラアナタ断レマスカ!？」—私は無理でした……白状すると、これは巡り巡って私にきた企画なのです。迎山って誰だ?と思われた方も多いでしょう。そうです。ゲストエディタには私よりもっと相応しい人はいたのです。当然、躊躇しました。ですが、ゲストエディタに相応しい人たちに相談したところ、スーパーバイザや執筆者として快く応じてもらえました。その結果、皆の協力があればゲストエディタのような偉い役はできなくても、縁の下の役割ならできらると思いいこの役を引き受けたのです。とはいえ、執筆者にはご負担をおかけしました。もうひとつここで書いておきたいのは「あか

ら2010ペーパークラフト」です。編集委員会から「工作ということで付録を」という要望があり、どうしたものかとしばらく悩んでいましたが、風呂に入っているときに突然「ユリイカ!」と来ました。実現にあたり関係者には本当にご迷惑をおかけしました。なんかもう色々すみません。最後に、こんなところまで読んでいただきありがとうございます。本特集が情報処理学会の次代を担う人たちの刺激になれば本望です(13番パーツは深く考えないでください)。

(迎山和司/本特集ゲストエディタ)

次号(9月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」東日本大震災 危機発生時の対応について考える

固定電話と通信サービス/携帯電話の震災対応/通信インフラの応急復旧/震災復興インターネット/ライブストリーミングによる震災発生後の情報配信/震災とソーシャルネットワーク/検索・ポータル/III 災害支援プログラムについて 社内ボランティア活動の報告/そのときスマートフォンは/震災報道 メディアはいかに伝えたか~放送局・新聞・出版~/地方自治体/民間支援/東日本大震災時の東北大学工学研究科の対応/緊急地震速報・津波警報—防災情報はどこで伝えたか~/公開分散センサデータの可視化(マッシュアップ技術)/放射線量測定・放射性物質拡散シミュレーション(独, 仏, 日本)/災害復旧支援・原子力事故対策ロボット

「特集」新しいインターネットがやってくる—基盤編—

新しいインターネットのビジョン/最近のインターネットのしくみ/IPv4 アドレス在庫枯渇とIPv6の普及/IPv6 アプリケーション/IPv6とプログラム開発/ネットワークシステム構築/コラム: IPv6 サービス利用時に発生する問題について IPv6fix WG

「小特集」ソフトウェアパターン—時を超えるソフトウェアの道—

ソフトウェアパターン概観/パターンランゲージの受容とソフトウェアパターンへの展開/パターンランゲージのプロセス/セキュリティの知識を共有するセキュリティパターン/コラム: 企業におけるパターン指向ソフト開発の実践/コラム: 行為・経験のデザインを支援するパターン・ランゲージ

解説: DNSSEC 解説—DNSにおけるセキュリティ拡張の導入 三田村健史 他
実証実験「つくばチャレンジ」の社会的背景と完走するための自律移動技術 山本健次郎 他
デジタルサイネージの最新動向 藤本仁志

道しるべ: ロボカップ道しるべ

連載: 古機巡礼 / 二進伝心

教育コーナー: ペタ語義

コラム: “I” 見聞録/巻頭コラム/シニアコラム: IT好き放題

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 25,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」52巻8号 掲載広告(五十音順)

- インタフェース……………表2 日立製作所……………表4
 オーム社……………表2対向

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
 広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

Google

グーグル (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTT データ (株)



NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽天

楽天 (株)

ilovex

(株) アイロベックス

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)

●●● 賛助会員 (2口)



(株) KDDI 研究所



NTT アドバンステクノロジー (株)



三協印刷 (株)



鉄道情報システム (株)



東北電力 (株)



(株) ナレッジクリエーション
テクノロジー



日本放送協会放送技術研究所

インテル (株)

【A～Z】

(株) ATR-Trek
 (株) CIJ
 (株) CSK
 (株) CSP フロンティア研究所
 (株) HBA
 Intellectual Ventures Japan 合同会社
 JRC エンジニアリング(株)
 (株) KDDI 研究所
 MHI エアロスペースシステムズ(株)
 NEC システムテクノロジー (株)
 (株) NEC 情報システムズ
 NEC ソフト(株)
 NEC ソフトウェア東北(株)
 NEC フィールドディング(株)
 NTT アドバンステクノロジー(株)
 NTT コムウェア(株)
 NTT ソフトウェア(株)
 (株) NTT データ
 (株) NTT データ・アイ
 (株) NTT データ CCS
 (株) NTT データ関西
 (株) NTT データ九州
 (株) NTT データ中国
 (株) NTT データ東海
 (株) NTT データ東北
 (株) NTT ドコモ
 NTT 横須賀研究開発センタ
 (株) OKI ソフトウェア
 (株) PFU
 TIS (株)

【あ行】

アートシステム(株)
 (株) アールティ
 アイアンドエルソフトウェア(株)
 (株) アイヴィス
 (株) アイ・エス・ビー
 アイシン・インフォテックス(株)
 アイシン精機(株)
 (株) アイズファクトリー
 (株) アイロベックス
 (株) アドバンス・メディア
 (株) アルファシステムズ
 池上通信機(株)
 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
 岩崎通信機(株)
 (株) インテック
 インテル(株)
 インフォサイエンス(株)
 (株) ヴェル研究所
 ヴィスコ・テクノロジーズ(株)
 (株) うえじま企画
 (株) エクサ
 (株) エス・エフ・シー
 (株) エスケーエレクトロニクス
 (株) エヌジェーケー
 エヌ・ディー・アール(株)
 (株) エルザジャパン
 オークマ(株)

(株) 大塚商会
 (株) オーム社
 沖電気工業(株)
 (株) 小野仁
 オムロン(株)

【か行】

(独) 科学技術振興機構
 (財) 画像情報教育振興協会
 (学) 片柳学園日本工学院専門学校
 (学) 片柳学園日本工学院八王子
 専門学校
 関西電力(株)
 関電システムソリューションズ(株)
 (一財) 機械振興協会
 キヤノン(株)
 キヤノン(株) 技術資料センター
 キヤノン IT ソリューションズ(株)
 キヤノンソフトウェア(株)
 (財) 九州先端科学技術研究所
 九州電力(株)
 共立出版(株)
 (株) 近代科学社
 グーグル(株)
 原電情報システム(株)
 (株) コア 中四国カンパニー
 (株) 構造計画研究所
 国土領大学情報科学センター
 (独) 国立印刷局研究所
 国立国会図書館
 コニカミノルタテクノロジーセン
 ター (株)
 (株) コミュニチュア
 コムシス情報システム(株)

【さ行】

(株) サイエンスハウス
 サクサ(株)
 サクシード(株)
 三協印刷(株)
 三美印刷(株)
 (株) シーエーシー
 (株) ジーダット
 (株) ジェイアールシステム・エンジ
 ニアリング
 (株) ジェイアール東日本情報シ
 ステム
 システム・オートメーション(株)
 (株) システムラボ
 実教出版(株)
 シャープ(株)
 (株) ジャステック
 (株) ジャストシステム
 (株) ジャパンテクニカルソフトウェア
 (株) 情報科学センター
 (一社) 情報サービス産業協会
 (独) 情報処理推進機構
 (独) 情報通信研究機構
 新日鉄ソリューションズ(株)
 住商情報システム(株)

住友電気工業(株)
 3Di (株)
 (株) セカンドセクション
 セコム(株)
 (株) 全農ビジネスサポート
 (株) 創夢
 ソニー (株)
 ソニーグローバルソリューショ
 ンズ(株)
 (株) ソフトウェアコントロール
 (一財) ソフトウェア情報センターソ
 フトウェア特許情報センター

【た行】

拓殖大学
 中国電力(株)
 (株) 中電シーティーアイ
 中部電力(株)
 中部日本電気ソフトウェア(株)
 通研電気工業(株)
 ティーディーシーソフトウェアエン
 ジニアリング(株)
 テービーテック(株)
 デジタルプロセス(株)
 鉄道情報システム(株)
 (公財) 鉄道総合技術研究所
 (株) テブコシステムズ
 (社) 電子情報技術産業協会
 (株) デンソー
 (株) デンソーアイティラボラトリ
 (株) デンソークリエイイト
 (株) 電通国際情報サービス
 (財) 電力中央研究所
 東海ソフト(株)
 東海旅客鉄道(株)
 東光(株)
 (株) 東芝
 東芝システムテクノロジー (株)
 東芝情報システム(株)
 東芝ソリューション(株)
 東芝テック(株)
 東芝マイクロエレクトロニクス(株)
 東芝メディカルシステムズ(株)
 東邦ガス情報システム(株)
 東北電力(株)
 (株) 東和システム
 特許庁
 トップパン・フォームズ(株)
 (株) トヨタコミュニケーションシ
 ステム
 トヨタ自動車(株)
 (株) 豊田中央研究所
 (株) ドワンゴ

【な行】

(株) ナレッジクリエーションテクノ
 ロジー
 (株) ニコンシステム
 日鉄日立システムエンジニアリング
 (株)

日本アルゴリズム(株)
 (株) 日本情報システムサービ
 ス
 日本電気(株)
 (株) 日本電気特許技術情報セン
 ター
 日本アイ・ビー・エム(株)
 (社) 日本化学会
 日本銀行
 日本原子力研究開発機構
 日本証券テクノロジー (株)
 日本信号(株)
 日本電子計算(株)
 日本電信電話(株)
 (株) 日本トラフィックコンピュー
 ターセンター
 (財) 日本品質保証機構
 日本放送協会 放送技術研究所
 日本マイクロソフト(株)
 日本無線(株)
 日本ユニシス(株)
 (株) 日本旅行
 (株) ネプロジャパン
 (株) 野村総合研究所

【は行】

(株) ハイエレコン
 パイオニア(株)
 パイオニア(株) 技術生産センター
 萩原電気(株)
 (有) バクサリー
 (株) 博報堂DYホールディングス
 パナソニック(株)
 パナソニック(株) AVC ネットワー
 クス社
 パナソニック MCE (株)
 パナソニック システムネットワー
 クス(株)
 パナソニック モバイルコミュニ
 ケーションズ(株)
 パナソニック電工(株)
 (株) ハビネット
 (株) ビーコン インフォメーション
 テクノロジー
 日立アイ・エヌ・エス・ソフトウェア(株)
 (株) 日立アドバンスデジタル
 (株) 日立国際電気
 (株) 日立情報システムズ
 (株) 日立情報制御ソリューション
 ズ
 (株) 日立製作所 情報・通信シ
 ステム社
 (株) 日立製作所 中央研究所
 (株) 日立製作所 中国支社
 (株) 日立製作所 東北支社
 (株) 日立製作所 横浜研究所
 (株) 日立ソリューションズ
 (株) 日立中国ソリューションズ
 (株) 日立テクニカルコミュニケー
 ションズ
 日立電子サービス(株)
 (株) 日立東日本ソリューションズ

- | | | | |
|-----------------------|----------------------|-------------------------|-------------------|
| (株)ファースト | フジテック(株) | 三菱スペース・ソフトウェア(株) | 横河電機(株) |
| (株)フォーカスシステムズ | 富士電機システムズ(株) | (株)三菱総合研究所 | |
| (株)フォーラムエイト | 富士フィルム(株) | 三菱電機(株) | 【ら行】 |
| (株)福岡CSK | 船井電機(株) | 三菱電機インフォメーションシステムズ(株) | 楽天(株) |
| (株)フジキカイ 名古屋工場 | フューチャーアーキテクト(株) | 三菱電機コントロールソフトウェア(株) | リードエグジビションジャパン(株) |
| 富士通(株) | ブラザー工業(株) | 三菱電機情報ネットワーク(株) | (株)リコー |
| (株)富士通アドバンスドエンジニアリング | ぶらっとホーム(株) | 三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株) | (株)リンクレア |
| (株)富士通エフサス | 古野電気(株) | | |
| (株)富士通九州システムズ | 北陸電力(株) | | |
| (株)富士通四国システムズ | (株)堀場製作所 | (株)三菱東京UFJ銀行 | |
| (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ | (株)本田技術研究所 | 三菱プレジジョン(株) | |
| | 【ま行】 | 武蔵野美術大学 | |
| (株)富士通中国システムズ | (株)マイクロアド | (株)メイテツコム | |
| (株)富士通中部システムズ | マツダ(株) | | |
| 富士通テン(株) | | 【や行】 | |
| (株)富士通東北システムズ | 三井情報(株) | | |
| (株)富士通長野システムエンジニアリング | (株)ミックナイン | ヤフー(株) Yahoo! JAPAN 研究所 | |
| (株)富士通北陸システムズ | 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株) | ヤマハ(株) | |

注) 一般社団法人・一般財団法人・公益財団法人はそれぞれ(一社)・(一財)・(公財)と省略した。



研究成果を
発表するなら
どこがいいかな?

この分野で
未来の情報社会を
リードできそうだ。

よし!
情報処理学会に入会して
論文を投稿しよう!

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集!!

申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率 (正会員会費が割引対象)

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%
ASTI	(Association Francaise des Sciences et Technologies de l' Information)	10%

※協力協定学会の会費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/03somu/kanrenlink/kanrendantai/kanren/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。
 正会員会費割引申請フォーム (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)
 初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。
 ※これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書(正会員) (https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先: 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375